

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」忍ヶ丘駅前校		
○保護者評価実施期間	2024年11月15日		～ 2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	今までの経験や実績を活かした個別の学習支援の実施がされている。	成功事例の支援法や教材を全体で共有して次に活かすことが出来ている。	引き続きミーティングやデータ等の情報共有を行っていく。研修等でスキルアップを図り、よりよい支援の提供に努める。
2	事業所内で周囲の状況等を観察して自分の行動を意識し、お互いに助け合えることができています。	職員の急な体調不良時でも担当変更の対応が出来るよう、日ごろから意識して子どもとかかわりを持つことが出来る。職員がお互いに自分の出来ることを主体的に行っている。	ミーティングの機会を増やし、相談・連携が瞬時に取れるようにしていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期に渡り利用される方が多いために、新規の利用者の受け入れ枠がなかなか取れない。 欠席時の振り替え等もしづらくなっている。	週のご利用回数が多い方の調整や支援の必要が少なくなっている方への調整が必要。	当事業所をご利用を続けたいご希望はありますが、困りごとのある新規の方のご利用につながるように、利用回数の見直し等を相談していくこと。 また新規校舎を開校するなど検討も必要。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」忍ヶ丘駅前校
------	----------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 47

回収数 27

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	4		1	少し狭く感じる。 イスのみの部屋2室はいいが、遊べる部 屋が少ない。	運動出来るスペースは部屋を広く使える ように用具の収納を工夫したい。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25			2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	1		1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	24	3				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	26	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	27					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	22			5		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	22			5		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	9	2	4	12		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	27					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	26			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニン グ等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	11	4	3	9		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていますか。	25	1			無回答 1	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	2		3		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	5	12		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	2		5		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21		1	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1		3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22		1	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18		1	8		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	2	1	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1		9		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	3				
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	4		1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」忍ヶ丘駅前校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		運動課題も限られたスペースの中で工夫して実施している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			法令を遵守した配置であるが、職員の増員もできれば検討したい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		トイレや教室は段差のないバリアフリーに配慮した設備環境を整えている。	支援のスペースに出来るだけ物がない状態が望ましい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃は欠かさず実施している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じてこどもが療育する教室を選択することができるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		事業所内で会議等を実施し、目標設定や振り返りを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			保護者へのアンケートを実施し、業務改善に努める。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所内で会議や定期的な面談等の機会を設けて業務改善に努めている。	効率的に会議の機会を増やす工夫を行い、さらにコミュニケーションを取れるようにする。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		現在は、利用者・社内の2者評価である。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月発達支援研究所による研修や内部研修を受けている。	外部研修の参加にも努める。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントをもとに課題を分析し、個々の発達の過程・特長等に応じた個別支援計画の作成に努めている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画作成会議を開催して、こどもの支援にかかわる職員で情報を共有して検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援に携わるすべての職員で計画を作成して内容を共有し、計画に沿ったサービス提供を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたアセスメントツールを使用している。保護者から提供していただいた発達検査は職員全員で共有し、支援に活かせるようにしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインの内容を踏まえて、個々のニーズに合わせた項目を設定したうえで支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			職員間で事例を共有して支援内容の意見を出し合っている。	

抜 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		ルーティンがある方が安定するお子様もいるが、支援内容が固定しないように一人一人の状況に合わせて、工夫するように努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	個別療育のため個別の支援計画を作成している。	基本的に個別療育のため集団は不定期のイベントで希望者に実施している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	個別療育のため役割は無いが、ミーティング時やその都度、情報の共有を行い確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	気が付いた時にその都度情報共有を心掛けている。時間が無いときは次の日に共有することもある。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回の支援記録をとり、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月以内にモニタリングを実施し、個別支援計画の見直しを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		個別の療育の中でこどもの意見も聞きながら、基本活動を複数組み合わせ支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		支援内容の調整を児童に合わせている。遊びやリフレッシュ課題は好きな内容で決めてもらっている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と担当指導員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者の希望により動ける体制を取っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎は無いが、行事等は保護者を通して、情報を共有している。保護者からの要望があった場合や必要に応じて、学校との情報共有を等行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて情報提供できる体制を整えている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて情報提供できる体制を整えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		センター主催の研修に参加をしている。また必要に応じて発達検査の結果等の共有してもらい支援についての助言を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	今のところ交流の機会は無い。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		代表者が自立支援協議会の放課後等デイサービス連絡会の定例会議に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援終了後の保護者への振り返りでお子様の状況を伝え合うよう心掛けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援終了後の振り返りで情報を共有し、ご家庭での対応法について相談を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定・重要事項説明書を事業所内に掲示している。毎回の振り返りで支援内容の説明を行っている。契約時や毎月の請求書で利用者負担額の説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		6か月ごとの計画の見直しの際に保護者からのご意見ご要望をお聞きしている。	普段の支援や振り返り時に保護者やお子様の気持ちを確認してサービスを提供するように務める。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画を提示して内容の説明を行い、保護者の同意の上署名をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後の振り返りで、相談を行っている。また、家族支援で悩みや相談に応じる機会を設定している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		親の会の活動やイベント情報を教室内に掲示して情報提供を行っている。	保護者同士の交流の場はあまり設けられていない。今後交流の場を設けるように検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に受付窓口の案内をしている。日頃から情報を共有し、お子様だけでなく保護者の意見や気持ちをお聞きしながら最良の支援に努める。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月のきらり通信や掲示板、HPのブログ・インスタグラム・LINEを活用して情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類や端末は鍵付きの書庫に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			お子様や保護者の状態に応じて視覚情報等を活用しながら、意思の疎通・情報伝達を行うよう努める。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域住民は無いが、小集団のイベント時に兄弟姉妹の参加希望にも応じている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、職員、保護者に周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			業務継続計画（BCP）を策定し、定期的に訓練を実施に努めている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントを取る際に持病や服薬、てんかん発作等について確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供はしていないが、事前にアレルギー等の把握はしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		事業所安全計画を作成して、施設の安全点検を実施している。定期的に研修も実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			安全確保は細やかに行っているが、書面で丁寧に周知できていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で自校舎だけでなく他校舎の情報も共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置して研修や話し合いの場を設けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に説明をし、やむを得ず身体拘束を行う場合は個別支援計画に記載をする。		